

シルク博物館平成27年度年報

シルク博物館

平成29年1月

シルク博物館平成 27 年度年報

目次

1	ごあいさつ	2
2	建物の概要	3
3	平成 27 年度のおもな出来事	3
4	事業	4
(1)	展示事業	4
ア	常設展示	4
イ	秋の特別展「今に生きる 江戸小紋 ～小宮家四代の作品を中心に～」	4
ウ	夏の企画 「親と子のかいこの自然科学教室」	5
エ	冬の企画「シルキーウィンターフェスティバル」	6
(2)	実演・講習会事業	7
ア	くみひも講習会	7
イ	手作り真綿の実演と講習会	7
ウ	まゆ人形作り・まわた人形作り・簡単くみひも作り	8
エ	スカーフ染め体験	8
オ	手描友禅色挿し体験	8
カ	つまみかんざし講習会	9
(3)	学習支援事業	9
ア	蚕種配布事業	9
イ	小学校等への桑苗配布事業	9
ウ	博物館実習生の受入れ	10
(4)	後援等事業	10
(5)	広報活動	11
(6)	資料活用事業	12
ア	収集資料	12
イ	所蔵資料などの貸出	13
ウ	資料の特別利用	13
(7)	シンクタンク機能	14
ア	執筆活動	14
イ	講演	14
(8)	レファレンス活動	14
(9)	協力事業	15
ア	他機関への協力	15
イ	無料入館の協力	15
ウ	団体主催事業への協力	15
(10)	視察等	16
5	資料	16
(1)	組織と職員	16
(2)	事業費	16
(3)	所蔵資料	16
(4)	入館者状況	17
(5)	過去の特別展・企画展一覧	18

1 ごあいさつ

シルク博物館は、絹の科学・技術の理解や、絹服飾の工芸美の鑑賞の場を提供するとともに、絹の需要促進を目的に、1959（昭和34）年3月に、横浜開港100年記念事業の一環としてシルクセンターに開設されました。

平成27年度も、この目的を踏まえて、特別展や企画展等の開催、講習会等の実施、蚕の飼育展示および蚕種配布事業などに取り組みました。

また、近隣の博物館との連携の円滑化や来館者サービスの向上を図るため、開館時間を平成27年7月1日より「午前9時～午後4時30分」から「午後9時30分～午後5時」に変更しました。

秋の特別展では「今に生きる 江戸小紋 ～小宮家四代の作品を中心に～」を開催し、次の世代により良い作品を残したいという小宮家の強い気持ちが込められた江戸小紋の極小の美の世界と、その素晴らしい伝統技術を紹介しました。

小学校等の学習支援としては、例年の蚕種配布事業とともに、桑の葉の確保に向けた桑苗配布事業にも取り組みました。また、夏休みには「親と子のかいこの自然科学教室」を開催し、「みなさんからのかいこへの手紙」を始めるとともに、冬の「たのしいかいこの発表会」では参加した団体・個人全員を対象とした表彰式を行いました。

さらに、冬の企画「シルキーウインターフェスティバル」や、前年度からの事業であるアンティークストッキングのリレー展示などにも取り組みました。

平成27年度の来館者数は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録の影響の大きかった前年度よりも若干減少しましたが、2万5千人台を維持しました。

しかしながら、我が国の蚕糸絹業を取り巻く環境は引き続き、厳しい状況でありますので、子どもから高齢者まで多くの皆様に蚕の不思議、絹の魅力を発信する中で、絹の需要促進にも、一層、寄与してまいりたいと考えています。

皆様方には、シルク博物館の取組みにご理解いただき、従来にも増してご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

2017（平成29）年1月

シルク博物館

2 建物の概要

【博物館】

展示面積 (2階)	798.00 m ² (241.39 坪)	※受付前、ミュージアムショップを含む
(3階)	558.03 m ² (168.80 坪)	
イベントホール	212.72 m ² (64.35 坪)	
第一収蔵庫	21.76 m ² (6.58 坪)	
第二収蔵庫	46.24 m ² (13.99 坪)	
映写室	24.48 m ² (7.41 坪)	
準備室	62.62 m ² (18.94 坪)	
図書室	67.80 m ² (20.51 坪)	

改装 昭和44年(開館10周年記念)
平成11年(開館40周年記念)
平成24年(開館53周年記念)

【シルクセンター】

所在地 神奈川県横浜市中区山下町1番地
構造 地下2階、地上9階、塔屋2階
建築面積 2,970 m² (900 坪)
延床面積 24,983 m² (7,570.85 坪)
設計監理 坂倉準三建築研究所
施工 鹿島建設株式会社
経過 起工 昭和32年11月
竣工 昭和33年11月(一部)、昭和34年3月12日(全館竣工)
開館 昭和34年3月12日

3 平成27年度のおもな出来事

- ・特別展を1回、企画を2回開催した。
- ・実演、講習会を計59回開催した。
- ・平成27年7月1日より、開館時間を「午前9時～午後4時30分」から「午後9時30分～午後5時」に変更した。

4 事業

(1) 展示事業

ア 常設展示

年間を通して蚕の飼育展示、繭やシルクの科学、絹製品などができる過程、衣食住にかかわる絹製品、蚕糸業の歴史、日本の復元時代風俗衣装人形、江戸から現代の着物、掛袱紗、アジアを中心とした民族衣装、蚕織錦絵など、シルクに関するさまざまな展示を行った。

また、昨年度に引き続き、アンティークストッキングのリレー展示を4回（全6回）開催した。

ア) リレー展示「絹とアンティークストッキング TOKITA COLLECTION」

【内容】アンティークストッキング収集研究家鶴田章氏が長年、収集したコレクションの中からテーマ別に展示、解説などを行った。全6回のうち平成26年度に2回は終了し、平成27年度は4回開催した。また、会期中の第2土曜日には鶴田氏による作品解説を開催した。

タイトル	会期	作品解説	開催期間
第3回 合成染料の発明でシルクストッキングがカラフルに —カラーストッキングと多色刺繍の出現—	4/1(水)～ 5/31(日)	4/11(土) 5/9(土)	53日間
第4回 美しい絹の下着とシルクストッキング —お洒落なコーディネート—	6/3(水)～ 7/31(金)	6/13(土) 7/11(土)	51日間
第5回 シルクストッキングの広告とパッケージデザイン —百貨店の登場による売り方の変化—	8/2(日)～ 9/30(水)	8/8(土) 9/12(土)	51日間
第6回 国産フルファッション・シルクストッキングの誕生 —日本の5メーカーと海外作品の競演—	12/1(火)～ 1/31(日)	12/12(土) 1/9(土)	51日間

イ) ミニ展示「つまみかんざし」

【会期】平成28年3月5日（土）～3月21日（月・祝）（開催期間15日間）

【内容】職人の巧みな手技により薄い絹布で作られた、小さく、可愛らしいつまみかんざしを「つまみかんざし講習会」開催に合わせて展示した。

【協力】つまみかんざし博物館

イ 秋の特別展「今に生きる 江戸小紋 ～小宮家四代の作品を中心に～」

【会期】平成27年10月10日（土）～11月8日（日）（開催期間26日間）

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県/横浜市文化観光局/神奈川新聞社/ t v k

一般財団法人織貿会館/東京織物卸商業組合/横浜繊維振興会

【内容】江戸小紋の重要無形文化財保持者（人間国宝）小宮康孝氏（二代目）の作品と、ご子息の小宮康正氏（三代目）の作品を中心に東京国立博物館、東京国立近代美術館、小宮染色工場の協力のもと、初代の人間国宝・小宮康助氏から四代にわたって受け継がれてきた匠の技による作品を展示し、型紙彫実演などを加え、江戸小紋の極小の世界と染色文化の素晴らしさを紹介した。

【展示】江戸小紋、長板中形の着物、着尺等作品 65 点、製作工程紹介等写真 52 点
型紙 34 点・古帛紗 90 点（小紋百景）・小紋見本 5 点・道具 8 点

【講演】「江戸小紋について」 講師：小宮康正氏 10 月 24 日（土）

【実演】型紙彫

錐彫 講師：宮原敏明氏 10 月 24 日（土）・25 日（日）

道具彫 講師：今坂千秋氏 10 月 31 日（土）・11 月 1 日（日）

【体験】シルクのかきものを着てみよう 10 月 10 日（土）・17 日（土）・11 月 7 日（土）

入館者数(人)

	個人				団体				無料※ その他	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	426	257	52	131	293	247	94	553	1,308	3,361
外国人	67	22	4	1	8	0	0	0	0	102
計	493	279	56	132	301	247	94	553	1,308	3,463

※無料その他：招待券、優待券など無料入館者

ウ 夏の企画 「親と子のかいこの自然科学教室」

【会期】平成 27 年 8 月 1 日（土）～8 月 30 日（日）（開催期間 26 日間）

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県教育委員会/横浜市教育委員会/神奈川新聞社/t v k /
NHK 横浜放送局/一般財団法人日本真綿協会

【内容】夏休みの小学生と保護者を対象に、蚕や天蚕などの生態観察、繭からの糸繰り、はた織り、繭人形作り、真綿作りなどの楽しい体験学習により、絹の生成過程や活用法、絹繊維の持つ特性などについての知識を深めていただくとともに、「かいこ」をとおした体験が理科教育や総合的な学習の一助となることを目的として開催した。

【展示】珍しい蚕（保存品種）の飼育、天蚕の飼育、みなさんからのかいこへの手紙

【体験】はた織り、糸繰り（水・木・金曜日）

まゆ人形作り（水・木・金曜日）

小さな真綿作り（火・日曜日）

ランプシェード作り（土曜日）

【講演等】「かいこ」上映とかいこの飼育についてのお話（土曜日）

特別講座「かいこの不思議」8 月 1 日（土） 参加者：30 人、保護者：23 人

- ・ 虫めがねでさぐるかいこのひみつ 講師：東京農工大学准教授 横山岳氏
- ・ まゆのなぞにちょうせん 講師：当館長 坂本英介
- ・ 「みなさんからのかいこへの手紙」

入館者数(人)

	個人				団体				無料※ その他	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	715	99	46	447	409	57	7	222	881	2,883
外国人	64	12	9	3	1	1	0	0	0	90
計	779	111	55	450	410	58	7	222	881	2,973

※無料その他：招待券、優待券など無料入館者

エ 冬の企画「シルキーウィンターフェスティバル」

【会期】平成27年12月1日(火)～平成28年1月11日(月・祝) (開催期間30日間)

【主催】シルク博物館

【後援】関東学院大学総合研究推進機構/関東学院大学人間環境学部人間環境デザイン学科/
日本ハビタット協会/アジアの女性と子どもネットワーク/横浜市工業
技術支援センター/シルクミュージアムショップアソシエーション

【内容】シルクを題材としたウィンターイベントを実施することにより、若い世代を含め、より多くの方々にシルクセンターやシルク博物館に来ていただき、シルクへの理解を深めていただくとともに、シルクに関わる産業の振興を図ることを目的に開催した。

本年度は6回目となり、関東学院大学、横浜市工業技術支援センターより展示協力をいただいた。また、かいこの観察記録や作品の展示として「たのしいかいこの発表会」を同時開催した。

【展示】たのしいかいこの発表会出品作品 16件(403人分) 253点

シルクで彩るウィンターデコレーション

横浜輸出スカーフ展示「時代を映し 暮らしを照らす

横浜スカーフ意匠Ⅲ 宇宙へ」

【関連行事】「まゆ人形作り、まわた人形作り、簡単くみひも作り」

12月5日(土)、12日(土)、19日(土)、23日(水・祝)、

1月10日(日)、11日(月・祝)

参加者：計28人

【特別企画】「シルキークリスマス」12月13日(日)

(無料入館日 入館者334人)

プログラム	出演者等	観覧者
クリスマスのお話	マリ・クリスティーン名誉館長	54人
シルクスカーフを用いた ファッションショー	関東学院大学	72人
クラシック・ヨコハマ2015 クリスマスコンサート	横浜市民広間演奏会	83人
「たのしいかいこの発表会」表彰式		214人

【同時開催】シルクフェア 会場：シルクミュージアムショップ

協力：シルクミュージアムショップアソシエーション

入館者数(人)

	個人			団体			無料※ その他	入場者計
	一般	シニア	高・大	一般	シニア	高・大		
日本人	276	114	26	49	29	2	1,002	1,498
外国人	21	11	6	0	0	0	0	38
計	297	125	32	49	29	2	1,002	1,536

※無料その他：小・中学生および招待券、優待券など無料入館者

(2) 実演・講習会事業

ア くみひも講習会

くみひもは、鎧や刀、帯締めなどに使われてきたが、現在は生活の中で広く利用されている。丸台を使って帯締めを組む講習会を実施した。

行事名	実施日	回数	講師	参加者
くみひも講習会	6/20(土)、21(日)	4回	溝呂木 基子 (元神奈川県蚕糸検査場技師)	6人
	11/21(土)、22(日)	(2日間で		6人
	2/20(土)、21(日)	1回)		6人
	3/19(土)、20(日)			4人

イ 手作り真綿の実演と講習会

真綿作りの伝統的な技術を次の世代に伝えるため、「手作り真綿の講習会」、「こどものための小さな真綿作り」、「真綿からの太糸作り実演と講習会」、「真綿の太糸指編み実演」および「手紬糸作り実演と講習会」を開催した。

【後援】一般財団法人日本真綿協会

行事名	実施日	回数	講師	参加者
手作り真綿の講習会	6/26(金)、27(土)、28(日) 2/11(木・祝)、12(金)、 13(土)、14(日)	7回	河合 貞子 難波 ハマ (元神奈川県蚕糸検査場技師)	14人
こどものための小さな真綿作り	8/2(日)、4(火)、9(日)、 11(火)、16(日)、18(火)、 23(日)、25(火)、30(日)	9回		244人 ※
真綿からの太糸作り実演	7/12(日)、25(土)、26(日)、 9/6(日)、20(日)、11/15(日)	6回		
真綿からの太糸作り実演と講習会	5/2(土)、3(日)、6/14(日)	3回		5人

真綿の太糸指編み実演	5/6(水・祝)、10(日)、 7/20(月・祝)	3回	七字 良枝 (編物作家)	
手紬糸作り実演	5/4(月・祝)、5(火・祝)、 6/7(日)、7/19(日)	4回	田村 恭子 (伝統工芸士)	
手紬糸作り講習会	5/24(日)、7/5(日)、 11/23(月・祝)	3回		4人

※開催日の小中学生入館者数

ウ まゆ人形作り・まわた人形作り・簡単くみひも作り

当館オリジナルキャラクター「まゆるん」のまゆ人形、あひるのまわた人形、三本の絹糸でくみひもを作る体験を実施した。

行事名	実施日	回数	講師	参加者
まゆ人形作り まわた人形作り 簡単くみひも作り	4/25(土)、26(日)、29(水・祝)、5/2(土)、 6/6(土)、7/4(土)、9/5(土)、10/3(土)、 12/5(土)、12(土)、19(土)、23(水・祝)、 1/10(日)、11(月・祝)、2/6(土)、3/5(土)	16回	当館職員	66人

エ スカーフ染め体験

シルクの白いスカーフ生地にビー玉やゴムを使って簡単な絞り模様をほどこし、草木染め染料による染色体験を実施した。

行事名	実施日	回数	講師	参加者
スカーフ染め体験	5/17(日)、7/26(日)	2回	佐藤 のり子	11人

オ 手描友禅色挿し体験

友禅染めの糸目糊による模様が描かれた絹生地に色を挿す体験を実施した。

行事名	実施日	回数	講師	参加者
手描き友禅色挿し体験	11/3(火・祝)	1回	生駒 暉夫 (公益社団法人日本工芸会正会員)	17人

カ つまみかんざし講習会

七五三やお正月の着物姿の髪飾りなどに使われる「つまみ細工」（薄い小さな絹布をピンセットで折り込んだ、花びらなどの作品）の作り方を指導した。

行事名	実施日	回数	講師	参加者
つまみかんざし講習会	3/13(日)	1回	石田 毅司 石田 貴志 (つまみかんざし博物館)	26人

(3) 学習支援事業

ア 蚕種配布事業

蚕の飼育を通して絹や蚕糸業への理解を深めていただくことを目的とし、蚕種を神奈川県を中心とした小学校、幼稚園等に広く有償配布した。なお、今年度からは桑の代用として人工飼料の販売も実施した。

【配布日】5月14日(木)・15日(金)・16日(土)

【配布先】小学校 180校 (横浜市内144校、神奈川県内26校、その他10校)
幼稚園・保育園 49園 (横浜市内33園、神奈川県内15園、その他1園)
教育委員会 17件
その他・個人 39件 合計285件

【配布数】蚕種：531袋(1袋約450粒入)、人工飼料：221本

【説明会】指導者用資料として蚕種配布者全員に「蚕の飼い方」を配布するとともに、配布日の午後に「蚕の飼い方・観察の仕方」説明会を開催した。

5月14日(木) 15:00～16:00 参加者32名
15日(金) 15:00～16:00 参加者36名
16日(土) 10:00～11:00 参加者71名
13:00～14:00 参加者33名
15:00～16:00 参加者29名 計201名

イ 小学校等への桑苗配布事業

5月の蚕種配布時のアンケート調査では、多くの小学校や幼稚園・保育園(以下、小学校等という)で桑の葉の確保に苦勞しているという回答が見られた。このため、今年度は試験的にアンケートで「桑の苗を購入したい」と答えた小学校等に、桑苗を5本程度無償で配布した。今後は、各学校等で定植・管理をする上での課題について検討していく。

【配布日】平成28年3月16日(水)

【配布先】 小学校 12校（横浜市内9校、神奈川県内3校）
 幼稚園・保育園 5園（横浜市内2園、神奈川県内3園）
 その他 1件 合計 18件

【配布数】 18校園に88本（1校園につき5本まで）

【説明会】 指導者用資料として桑苗配布者全員に桑の栽培マニュアルを配布するとともに、桑苗の植付け、施肥、剪定（仕立て）方法についての説明会を開催。

ウ 博物館実習生の受入れ

学芸員養成に協力するとともに当博物館を広く周知し、絹に対する理解と関心を深めてもらうため博物館実習の受入れを行った。

【実習内容】 ・オリエンテーション（シルク博物館の展示運営と取組み）
 ・普及活動実習（「親と子のかいこの自然科学教室」での来館者へのかいこの飼育観察や体験学習の指導、蚕の飼育）

【受入校】 7大学8人

実習期間	大学名	学年	人数
8/4(火)～8/18(火)	学習院大学	4年	1名
	専修大学	4年	1名
	鶴見大学	4年	1名
8/18(火)～9/1(火)	桜美林大学	3年	1名
	共立女子大学	4年	1名
	共立女子大学大学院	2年	1名
	昭和女子大学	4年	1名
	東洋英和女学院大学	4年	1名

(4) 後援等事業

	事業名	主催	会期	事業内容	
後援名義使用	2015年「横浜ファッションウィーク」	横浜ファッションウィーク実行委員会	4/25(土)～5/6(水・祝)	横浜市内のファッション産業の振興、生活文化産業の発展を目指し、横浜の代表的な地場産品である「横浜スカーフ」の復興事業	後援名義使用
使用	戦後70年世相から見たファッション時の流れの中で魅せたきものたち	公益社団法人服飾文化研究会	11/18(水)～11/23(月・祝)	当館イベントホールおよびシルクセンター催事場等で戦後70年の衣服の歴史を展示とファッションショーで紹介	後援名義使用

	「第 21 回真綿のヴィジュアル・アート」	一般財団法人 日本真綿協会	12/9(水)～ 14(月) 応募締切 10/20(火)	真綿を素材とした作品の 公募によるアート展	後援名義使用
	「第 10 回真綿を使った小物作り」	一般財団法人 日本真綿協会	応募締切 1/20(水)	真綿を素材とした作品の公募	後援名義使用
協力	「よこすかシルクものがたり展」	よこすかシルクものがたり 展実行委員会	10/2(金)～ 5(月)	セントラルホテル(横須賀市)においてシルクについての情報発信、当館PRのために蚕の飼育展示、座繰り器等を展示協力	展示協力

(5) 広報活動

	主な取材内容	放映・掲載日	放送局・新聞社	番組名、掲載欄等
テレビ	博物館紹介	7/16(水)	フジテレビ	フジテレビ『おじゃまっぷ』
	展示パネル 『横浜への「絹の道」』 横浜周辺地図	1/1(金)～5(火)、 9(土)～11(月)、 16(土)～18(月)、 23(土)～25(月)、 30(土)～31(日)	横浜ケーブル ビジョン(株)	けーぶるにっぽん 「技 JAPAN」 横浜スカーフ 美と技の調和
新聞 報道	夏の企画 「親と子のかいこの自然科学教室」	7/26(日)	朝日新聞	
		8/7(金)	産経新聞	
		8/15(土)	神奈川新聞	
		8/26(水)	読売新聞	
	秋の特別展 「今に生きる江戸小紋～小宮家四代の作品を中心に～」	9/25(金)	染織文庫	
		10/19(月)	毎日新聞	
		10/23(金)、10/30(金)	神奈川新聞	
	冬の企画「シルキーウインターフェスティバル」	12/11(金)	朝日新聞	
		1/7(木)	神奈川新聞	
	シルク博物館の紹介	5/30(土)	読売新聞	
9/1(火)		夕刊フジ		

(6) 資料活用事業

ア 収集資料 30点

(ア) 購入 13点

	資料名	点数	購入先
図 書	『つむぎおり』	1	(株)求龍堂
	『milsil』No.1 2016 vol.9	1	全国科学博物館振興財団
	『美しいキモノ』No.252～255	4	アシェット婦人画報社
	小学3年生 理科 教科書	4	教育出版、学校図書、啓林館、東京書籍
	小学校教科書ワーク 学校図書版 小学校理科3年	1	文理
DVD	「紬織—志村ふくみのわざ—」	1	(株)日経映像
	「芭蕉布—平良敏子のわざ—」	1	シネマ沖縄

(イ) 寄贈 28点

	資料名	点数	寄贈者
資 料	佐賀錦帯「春鶯」 古賀フミ作	12	西山 高暉氏
	佐賀錦帯「羽衣の舞」 古賀フミ作		
	佐賀錦短刀袋「花若」 古賀フミ作		
	佐賀錦短刀袋「秋津島」 古賀フミ作		
	佐賀錦雅袋「春華」 古賀フミ作		
	佐賀錦雅袋「曙光」 古賀フミ作		
	佐賀錦帯「琉璃光」 古賀フミ作		
	佐賀錦雅袋「水径」 古賀フミ作		
	佐賀錦笛袋「晨潮」 古賀フミ作		
	佐賀錦笛袋「花吹雪」 古賀フミ作		
	佐賀錦帯「雪月花」 古賀フミ作		
	佐賀錦帯「四照花」 古賀フミ作		
	生地「甲申純子」 鈴木一作	1	鈴木 一弘氏
古帛紗 小宮康孝作	10	小宮 康正氏	
コプト裂額装品	1	田中 英一氏	
図 書	『染めの型紙 江戸型の発現』	1	小宮 康正氏
	『YUMI KATSURA THE FIRST CLASS WEDDING』	1	ユミカツラインターナショナル
	『YUMI KATSURA WEDDING DRESS ARCHIVE』	1	
	YUMI KATSURA BRAND STORY 桂由美物語	1	

イ 所蔵資料などの貸出 2件7点

貸出先	点数	展覧会名	会期	貸出資料
群馬県立近代美術館	1	人間国宝 佐々木苑子 —絵絣紬に生きる—	4/18(土)～ 6/21(日)	紬織絵絣着物「夜の煌」 佐々木 苑子作
文化庁 (会場:東北歴史博物館・ 秋田市立千秋美術館)	6	『「日本のわざと美」展 —重要無形文化財とそれを支える人々—』	9/12(土)～ 10/18(日)	生地 藍地唐花文羅 喜多川 平郎作
				帯 七献立献上博多織 小川 善三郎作
			10/24(土)～ 12/6(日)	訪問着「花」縮緬地臈纈友禅染 木村 雨山作
				留袖「雲文」縮緬地友禅染繡 中村 勝馬作
			伊勢型紙 突彫「御所伽」 南部 芳松作	
			伊勢型紙 道具彫「亀甲菱菊」 中村 勇二郎作	

ウ 資料の特別利用 5件98点

申込・掲載者	利用資料(撮影、掲載)	点数	掲載誌等	掲載日
黒川豊子 (株)美匠社	織着物「豌豆」 黒川豊子作	1	「黒川豊子作品集」	6/22(月)発行
NHK編集局編集センター	ハンカチ(大正時代)	1	BSプレミアム「恋する雑貨 横浜 ステキなコトはじめ」	5/22(金)再放送
横浜市・横浜市市史資料室	雑誌「シルク」	計	複写資料の公開	5/1(金)～公開
	雑誌「シルク時報」	94		
日本経済新聞社	小袖「緑縮地扇車柴唐戸に草花流水の風景(能・通小町)」	1	『隠された物語 江戸美術より十選』10 「通小町(御所解)文様小袖」	12/28(月)掲載
(株)スクエア・ノット	「横浜周辺拡大地図」(パネル「横浜への絹の道」部分)	1	BS朝日『百年名家』 「“絹の道”の豪邸」第1弾	1/10(日)放映
			同上「“絹の道”の豪邸」 第2弾	1/17(日)放映

(7) シンクタンク機能

ア 執筆活動

内容	掲載日	掲載先		筆頭者
「カイコから学ぶ子どもたちと博物館」	8/10(月)	文化庁広報誌	「ぶんかる いきいきミュージアム エデュケーションの視点から」	石鍋 由美子
「生糸貿易を支えた信楽焼」	1/22(金)	神奈川新聞社	『かながわの地域博物館から「学芸員ネットワーク」』	石鍋 由美子
「かいこ博士プロジェクト始動に向けて」	2/25(木)	日本博物館協会『博物館研究』	「ミュージアムクリップ」	福地 こころ

イ 講演

題名	内容	講演日	主催者	会場	講演者
「蚕の飼育方」	カイコの飼育方法等	5/20(水)	横浜市小学校理科研究会	横浜市立大鳥小学校 (聴講者 30 人)	坂本 英介
「絹物語～シルク博物館探訪～」	絹の歴史やその魅力、日本を支えた絹産業について	6/3(水)	鎌倉市生涯学習推進委員会	大船学習センター (聴講者 20 人)	大野 美也子
「シルクについて」	カイコ、絹の特徴、シルク貿易の歴史等	1/28(木)	サラリーマンOB会金沢'95	金沢八景パークシティ 研修室 (聴講者 55 人)	坂本 英介

(8) レファレンス活動

かいこを飼育する学校、個人からの問い合わせのほかに報道機関からのシルクに関する問い合わせなどが多数あった。

分類	主な内容
かいこの飼育に関して	飼育方法(ふ化から繭作りまでの各過程)
	繭の活用方法(糸くり、繭人形、染色、真綿作り)
	カイコを飼育するための入手方法
	エサ(桑葉)の確保
蚕糸業	絹の道
	養蚕農家、製糸業

(9) 協力事業

ア 他機関への協力

掲載先		協力内容	協力者
文化庁	無形文化財工芸技術記録映画製作委員会 佐賀錦一古賀フミのわざー	委員 (継続)	大野 美也子
文化庁	平成 27 年度無形文化財工芸技術資料買取評価会	評価員	大野 美也子
文化庁	平成 28 年度工芸技術記録映画製作委員会 友禅 二塚長生の映画	委員就任	大野 美也子

イ 無料入館の協力

事業名	主催者	数量	対象	実績
児童福祉週間	神奈川県	5/5(火)～10(日)	小・中学生	22 人
開港記念日	横浜市	6/2(火)	小・中学生 高校・大学生	41 人
第 7 回かながわ 子ども・子育て支援月間	神奈川県	8 月毎土曜日 (8/1,8,15,22,29)	小・中学生	200 人

ウ 団体主催事業への協力

事業名	主催	期間	協力内容	備考
2015 第 13 回バレエコン クールIN横浜	(公社)日本バレ エ協会関東 支部	5/2(土)～ 5/5(火・祝)	復刻スカーフ 6 枚	
ミュージアム・クイズラリー よこはま 2015	神奈川県立 歴史博物館	7/18(土)～ 8/30(日)	クイズ等の提供と同ラリー 参加者に対して入館料 の割引	163 人
夏休み体験教室	高島屋横浜店	7/24(金)～ 7/25(土)	カイクと繭の提供	
平成 27 年度かながわ サイエンスサマー	神奈川県	8/1(土)～ 8/31(日)	「親と子のかいこの自然 科学教室」情報提供	2,973 人
ツーリズムEXPOジャパン 2015	(鋼材)神奈川 県観光協会	9/24(木)～ 9/27(日)	招待券(2名)10 枚提供	
シルク&近代遺産歴史ラ リー(スタンプラリー)	(株)ジェイアール 東日本企画	10/19(月)～ 11/30(月)	同ラリー参加者に対して 入館料の割引	262 人
純国産「宝絹展」	大日本蚕糸会	11/20(金)～ 11/21(土)	まゆクラフト体験の材料と 道具の提供	

※備考は、当館での参加人数

(10) 視察等

視察日	団体	人数
8/18	タイ王国大使館 農務担当官事務所	6人
1/19	ホーランド・アメリカ・ライン社、横浜港湾局	5人
2/3	大日本蚕糸会、中国シルクセンター	2人

5 資料

(1) 組織と職員

博物館部長（館長）(1) 学芸課長(1)

学芸員 (1) 学芸専門員(1) アルバイト(4)

※()内は人員

(2) 事業費

費目	内容	支出(円)
博物館事業費		7,363,635
内訳)		
普及事業費	常設展示費・特別展開催等	5,376,743
資料整備費	資料補修費・図書資料等収集費	260,832
広報事業費	広告掲載費	1,147,823
運営管理費	運営委員会開催費・損害保険料	578,237

(3) 所蔵資料

(点数)

	27年度収集		総数
	購入	寄贈	
資料	0	24	6,117
写真・ビデオなど	2	0	608
図書	11	4	6,530
計	13	17	13,255

(4) 入館者状況

(人)

	個人				団体				無料※ その他	入場者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
4月 【26日】	313 (96)	160 (26)	194 (11)	104 (5)	69 (0)	67 (2)	22 (0)	12 (0)	546 (0)	1,487 (140)
5月 【27日】	381 (53)	186 (41)	157 (5)	257 (0)	101 (0)	77 (0)	193 (32)	469 (0)	1,015 (12)	2,836 (143)
6月 【25日】	342 (55)	100 (6)	65 (4)	290 (8)	197 (0)	110 (0)	82 (0)	797 (39)	652 (0)	2,635 (112)
7月 【27日】	436 (67)	140 (36)	45 (14)	260 (9)	101 (1)	36 (0)	4 (1)	713 (0)	798 (0)	2,533 (128)
8月 【26日】	779 (64)	111 (12)	55 (9)	450 (3)	410 (1)	58 (1)	7 (0)	222 (19)	881 (0)	2,973 (109)
9月 【26日】	327 (71)	114 (15)	44 (5)	144 (7)	166 (0)	136 (0)	83 (0)	606 (0)	474 (0)	2,094 (98)
10月 【23日】	334 (40)	225 (21)	47 (2)	114 (0)	171 (0)	202 (0)	79 (0)	578 (0)	871 (0)	2,621 (63)
11月 【21日】	389 (47)	170 (16)	62 (3)	81 (2)	221 (28)	1,582 (0)	18 (0)	73 (0)	965 (0)	3,561 (96)
12月 【23日】	217 (17)	100 (11)	27 (6)	0 (0)	26 (0)	20 (0)	1 (0)	0 (0)	834 (0)	1,225 (34)
1月 【24日】	215 (39)	68 (3)	38 (2)	95 (1)	43 (0)	30 (0)	1 (0)	192 (0)	420 (0)	1,102 (45)
2月 【24日】	219 (41)	91 (4)	57 (2)	154 (1)	85 (0)	29 (0)	40 (1)	148 (0)	478 (0)	1,301 (49)
3月 【27日】	316 (64)	138 (23)	42 (6)	117 (3)	216 (0)	88 (0)	10 (0)	53 (0)	608 (0)	1,588 (96)
計 【299日】	4,268 (654)	1,603 (214)	833 (69)	2,066 (39)	1,806 (30)	2,435 (3)	540 (34)	3,863 (58)	8,542 (12)	25,956 (1,113)

【 】開館日数 () 外国人

総入館者数 1,969,041人 (昭和34年3月12日～平成28年3月31日)

※無料その他：招待券、優待券その他による無料入館者

(5) 過去の特別展・企画展一覧

年度	特別展等
1959(昭和 34)	シルクセンター竣工記念全国輸出振興展
	特別展『蚕織錦絵展』
1960(昭和 35)	特別展『近世日本衣装名品展』
1961(昭和 36)	特別展『近代染織名作展』
1962(昭和 37)	特別展『日本伝統染織工芸展』
1964(昭和 39)	特別展『オリンピック東京大会記念シルクフェア』
1965(昭和 40)	特別展『能装束展』
1966(昭和 41)	「第 8 回米国貿易見本市出品絹製品展示会」
	特別展『伝統染織作品と紅染資料展』
1967(昭和 42)	特別展『紋と繻の美展』
1968(昭和 43)	特別展 開館 10 周年記念『シルク博物館所蔵品展』
1969(昭和 44)	特別展『江戸時代能装束展』
1970(昭和 45)	特別展『花のきものと髪かざり展』
	特別展『第 1 回シルク博物館染織作品展』
1971(昭和 46)	特別展『第 2 回シルク博物館染織作品展』
1972(昭和 47)	特別展『第 3 回シルク博物館染織作品展』
1973(昭和 48)	特別展『第 4 回シルク博物館染織作品展』
1974(昭和 49)	特別展『第 5 回シルク博物館染織作品展』
1976(昭和 51)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』
1977(昭和 52)	特別展『世界の民族衣装展』
1978(昭和 53)	特別展『人間国宝による「絹の伝統染織名作展」』
1979(昭和 54)	特別展『横浜絹の祭典と染織新作展』
1980(昭和 55)	特別展『思い出のきもの展』
1981(昭和 56)	特別展『草木染展と染織新作展』
1982(昭和 57)	特別展『洋装のあゆみとニューファッション展』
1983(昭和 58)	特別展『ふるさとの絹展と第 8 回染織作品展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
1984(昭和 59)	特別展『花嫁衣装展』
	特別展『江戸期から現代までの「江戸小紋展」』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『郷土かながわの染織作品展』
1985(昭和 60)	特別展『日本人形の細工物展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『フランス絹織物栄光とその先達「リヨン織物美術館秘蔵品展」』

1986(昭和 61)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『関東の絹展と第 9 回染織作品展』
1987(昭和 62)	特別展『レースの美展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ファッションデザイナーによる'87 ニューウェーブきもの展』
1988(昭和 63)	特別展『ふろしきの今昔展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『'88 ニューシルク展と第 10 回染織作品展』
1989(平成元)	特別展『シルク博物館所蔵名品展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『華麗なる絹の世界へ「絹の文化展」～江戸と現代～』
1990(平成 2)	特別展『「日本の紬展」～紬のふる里を訪ねて～』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクまつり'90 と第 11 回染織作品展』
1991(平成 3)	特別展『館蔵「蚕織錦絵展」～錦絵にみる時代風俗と衣装～』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～桂由美コレクション～「世界の民族花嫁衣装展」』
1992(平成 4)	特別展『館蔵「染織名品展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェア'92 と第 12 回染織作品展』
1993(平成 5)	特別展『館蔵「江戸小袖展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「絹と化粧まわし展」～戦後横綱の化粧まわしによる～』
1994(平成 6)	特別展『館蔵「江戸古裂展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェスタ'94 と第 13 回染織作品展』
1995(平成 7)	特別展『～繡の美～「甞る足柄刺繡展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「思い出のきもの展」-PART II- ～昭和・平成の衣装作品から～』
1996(平成 8)	特別展『～日本人の贈りもの～「掛袱紗展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェア'96 と第 14 回染織作品展』
1997(平成 9)	特別展『アヅマカブキの舞踊衣装展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～手織りの芸術美～「ラオスの伝統織物展」』

1998(平成 10)	特別展『カイコの道具展とシルクフェア'98』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 15 回染織作品展と秋のシルクフェア』
1999(平成 11)	特別展『文化の伝承—江戸から現代へ「華麗なる能装束の美」展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『染めの美織りの美 ～人間国宝作家作品を中心として～』
2000(平成 12)	特別展『沖縄の伝統染織展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 16 回全国染織作品展』
2001(平成 13)	特別展『人生をかけた荒井照太郎の手描友禅その美』
	企画展『「熊田千佳穂の昆虫記録展」と親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ブータンの民族衣装とシルクフェア』
2002(平成 14)	特別展『中村光哉友禅染色の詩展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 17 回全国染織作品展とシルクフェア』
2003(平成 15)	特別展『糸目友禅の巧み「人間国宝 山田貢展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『市田ひろみコレクション「世界の民族衣装展」』
2004(平成 16)	特別展『自然をいつくしむ手描友禅「人間国宝 田島比呂子展」』
	企画展『親と子の「歌舞伎人形とかいこの自然科学教室」』
	特別展『第 18 回全国染織作品展』
2005(平成 17)	特別展『世界のふろしき展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『今に伝えるつむぎの魅力』
2006(平成 18)	特別展『「人間国宝 細見華岳展」—綴織に心を込めて—』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 19 回全国染織作品展』
2007(平成 19)	特別展『インド サリーの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『旧山辺知行コレクション「インドの染織展」』
2008(平成 20)	特別展『アロハ・デザイン展』
	特別展『ラオス女性が伝える手織りの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 20 回全国染織作品展』

2009(平成 21)	特別展『佐賀錦のみやびな世界「人間国宝 古賀フミ展」』
	特別展『開館 50 周年記念「ヨコハマ開港とシルク展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『鈴木一コレクション「古渡り更紗と名物裂展」』
2010(平成 22)	特別展『ペルシャシルク絨毯の世界』
	特別展『華麗なる能装束「稔りの季」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 21 回全国染織作品展』
2011(平成 23)	特別展『「三浦景生展」ーヨコハマ染陶暦程ー』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ー平山郁夫シルクロード美術館コレクションー 「豊饒なる色彩ーウズベキスタンの布と器」』
2012(平成 24)	特別展『「美しい日本の絹」ユミ カツラブライダルコレクション』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 22 回全国染織作品展』
2013(平成 25)	特別展『群馬県立日本絹の里との提携記念 「夢を紡いだシルク」ー「蚕の国」群馬と「シルクの街」ヨコハマー』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ー美しい日本の絹ー「友禅」』
2014(平成 26)	企画展『世界に羽ばたいたスカーフたち』
	企画『親と子のかいこの自然科学教室』
	特別展『第 23 回全国染織作品展』
2015(平成 27)	企画『親と子のかいこの自然科学教室』
	特別展『今に生きる 江戸小紋 ～小宮家四代の作品を中心に～』

シルク博物館平成27年度年報

平成 29 年 1 月 25 日 発行

編集・発行 シルク博物館

〒231-0023

神奈川県横浜市中区山下町 1 番地

TEL 045-641-0841